



2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2018年8月7日

上場会社名 株式会社 田中化学研究所
 コード番号 4080 URL <http://www.tanaka-chem.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 茂苅 雅宏
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 副社長執行役員 (氏名) 大畑 尚志
 四半期報告書提出予定日 2018年8月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 0776-85-1801

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	7,721	51.2	220	15.0	243	2.6	201	4.0
2018年3月期第1四半期	5,107	22.2	259		237		209	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	7.94	
2018年3月期第1四半期	8.27	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	18,278	8,640	47.3
2018年3月期	16,477	8,438	51.2

(参考)自己資本 2019年3月期第1四半期 8,640百万円 2018年3月期 8,438百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		0.00	0.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	54.1	350	52.1	330	47.9	300	56.0	11.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期1Q	25,350,800 株	2018年3月期	25,350,800 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2019年3月期1Q	1,037 株	2018年3月期	1,037 株
------------	---------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期1Q	25,349,763 株	2018年3月期1Q	25,349,763 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定及び確信に基づくものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は見通しと異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(追加情報)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における二次電池業界は、関連するメーカーにおいて環境対応車用途の市場拡大を企図した拠点展開や設備投資などの対応が活発化しております。

このような市場環境の中、前年第3四半期より環境対応車用途の新製品の量産納入が開始されており、当第1四半期累計期間の生産設備の稼働は前年同四半期比で向上しております。しかしながら、期初より主要なケミカル材料や電力料金の値上げの受入れを余儀なくされ、大幅なコスト上昇要因となっており、採算面では厳しさを増しております。

一方、当社製品の主原料であるニッケル及びコバルトの国際相場において、ニッケルは前期から足下にかけて上昇しており、コバルトは前々年第2四半期より足下にかけて上昇を続け、かつ上げ幅も大きく推移いたしました。売上高はこうした足下の相場が反映されるのに対して、売上原価は過去の相場も反映され相対的に低く推移いたしました。このような相場差異が前期に引き続き大幅な利益の押し上げ要因となっております。

以上の結果、売上高7,721百万円(前年同四半期比51.2%増)、営業利益220百万円(前年同四半期比15.0%減)、経常利益243百万円(前年同四半期比2.6%増)、四半期純利益は201百万円(前年同四半期比4.0%減)となりました。

主要な品目別の販売数量の概況は以下のとおりであります。なお、当社は二次電池事業の単一セグメントであるため、セグメントごとに記載しておりません。

「リチウムイオン電池向け製品」

前年同四半期比で23.8%の増加となりました。用途別の増減は次のとおりであります。

- ・環境対応車用途は、前年第3四半期より新製品の販売が開始され、前年同四半期比で243.7%の増加となりました。
- ・民生用途は、生産設備の一部を環境対応車用途へと転換させた事により、前年同四半期比で16.8%の減少となりました。

「ニッケル水素電池向け製品」

前年同四半期比で6.8%の減少となりました。用途別の増減は次のとおりであります。

- ・環境対応車用途は、主要顧客からの受注に大きな変動はなく、前年同四半期比で2.7%の増加となりました。
- ・民生用途は販売数量自体、他の製品分野と比較すると限定的ではありますが受注量が減少しており、前年同四半期比で42.3%の減少となりました。

(ご参考)

(ニッケル国際相場：円換算)

(単位：円/k g)

	4～6月平均	7～9月平均	10～12月平均	1～3月平均
2019年3月期	1,592	—	—	—
2018年3月期	1,037	1,178	1,320	1,452

(コバルト国際相場：円換算)

(単位：円/k g)

	4～6月平均	7～9月平均	10～12月平均	1～3月平均
2019年3月期	10,429	—	—	—
2018年3月期	6,965	7,324	8,059	9,456

※ ニッケル LME(ロンドン金属取引所)月次平均×TTS月次平均

コバルト LMB(ロンドン発行メタルブリテン誌)月次平均×TTS月次平均

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は前事業年度末比1,800百万円増加し、18,278百万円となりました。

その主な要因は、現金及び預金が1,521百万円、棚卸資産が566百万円、有形固定資産が98百万円増加した一方、その他の流動資産が455百万円減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末比1,598百万円増加の9,637百万円となりました。

その主な要因は、仕入債務が1,428百万円増加したことによるものであります。

純資産は、四半期純利益を計上したこと等により前事業年度末比201百万円増加の8,640百万円となり、自己資本比率は47.3%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月11日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	945,108	2,467,031
受取手形及び売掛金	3,109,448	2,952,477
電子記録債権	121,282	345,093
商品及び製品	1,020,960	1,940,419
仕掛品	1,611,171	2,019,258
原材料及び貯蔵品	1,946,563	1,185,920
グループ預け金	2,000,000	2,000,000
その他	609,753	154,599
流動資産合計	11,364,290	13,064,800
固定資産		
有形固定資産	4,873,299	4,972,021
無形固定資産	10,131	9,825
投資その他の資産		
その他	230,034	231,947
貸倒引当金	△451	△451
投資その他の資産合計	229,583	231,496
固定資産合計	5,113,013	5,213,343
資産合計	16,477,303	18,278,143
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,184,131	4,612,470
1年内返済予定の長期借入金	300,000	300,000
未払法人税等	92,131	58,706
引当金	127,006	69,175
その他	1,761,628	2,058,674
流動負債合計	5,464,897	7,099,026
固定負債		
長期借入金	2,400,000	2,400,000
その他	173,899	138,726
固定負債合計	2,573,899	2,538,726
負債合計	8,038,797	9,637,753
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,779,021	5,779,021
資本剰余金	3,286,500	3,286,500
利益剰余金	△644,266	△442,900
自己株式	△2,015	△2,015
株主資本合計	8,419,239	8,620,605
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,267	19,785
評価・換算差額等合計	19,267	19,785
純資産合計	8,438,506	8,640,390
負債純資産合計	16,477,303	18,278,143

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）
売上高	5,107,568	7,721,312
売上原価	4,430,322	7,117,782
売上総利益	677,245	603,530
販売費及び一般管理費	418,144	383,206
営業利益	259,100	220,324
営業外収益		
為替差益	—	29,083
その他	3,116	2,839
営業外収益合計	3,116	31,923
営業外費用		
支払利息	6,763	5,584
為替差損	14,865	—
その他	3,398	3,246
営業外費用合計	25,027	8,831
経常利益	237,190	243,416
特別利益		
補助金収入	505	—
特別利益合計	505	—
特別損失		
固定資産除却損	824	81
特別損失合計	824	81
税引前四半期純利益	236,870	243,335
法人税、住民税及び事業税	27,214	39,467
法人税等調整額	△71	2,501
法人税等合計	27,143	41,968
四半期純利益	209,727	201,366

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年(平成30年)2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。